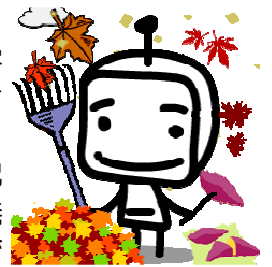


# ブログをはじめてみませんか？

多くの企業がウェブサイトを開示している現在、通常の企業サイトで何度も再訪してくれるリピーターを増やすことは難しくなっています。ウェブサイトに宣伝や販売・集客などを期待する場合、繰り返し見てもらうことが大切ですが、会社案内や製品情報だけのサイトでは、なかなか再訪してもらえないのが現状です。

そこで注目されたのがブログです。以前もご紹介しましたが、ブログは基本的には日記です。日記ですので、初めは個人が、自分の考えや情報を不特定多数の読者に対して発信する場でした。しかし、この日記のようなブログのスタイルが、思いのほか効率的で情報発信に適しているため、ビジネスでも広く用いられるようになってきました。



キューブ君

## (1) ブログのメリット

- ①更新が簡単・・・記事の登録画面で文章を入力し、写真などを指定するだけで、簡単に作成することができます。携帯電話からも登録可能です。
- ②ホームページ作成の知識がいらない・・・記事の登録後、自動的にページが作成されるので、ホームページを作成するための知識が必要ありません。電子メールができれば簡単に作成できます。
- ③検索エンジン（SEO）対策に有利・・・自動的に検索エンジンに好まれる形式で作成されるため、ヤフーやGoogleなどで上位表示される傾向にあると言われています。更に頻繁な更新が可能、他のサイトから容易にリンクを張ってもらえることなど、検索エンジン対策に有利な点が多くあります。
- ④カテゴリごとに分類できる・・・記事をカテゴリごとに分けて登録できるので、効率よく分類することが可能です。運用次第では簡単なデータベースとして利用することもできます。
- ⑤コメントやトラックバックなどを利用して双方向のやり取りができる・・・情報を一方的に発信するのではなく、読者からコメントをもらったり、トラックバック機能で、読者のブログを紹介してもらうことができます。
- ⑥RSSに対応している・・・記事の概要を自動的に配信するシステムが標準で組み込まれているので、記事を作成すると、自動的に更新情報をネット上に知らせることができます。

## (2) ブログの活用例

- ①会社の情報を公開する場として・・・例えば、経営者としての日ごろの考え方や活動を、取引先やお客様にお知らせす

ることができます。また、社員が、開発秘話や工程日誌を掲載するなど、普段は伝えられない企業活動を伝えることができます。

- ②情報収集・・・コメントやトラックバックを利用して、商品やサービスの評判、使用後の感想、意見などを収集することができます。
- ③プロモーション・・・新製品、新サービス情報、イベント情報、採用情報、プレスリリースなどをオンタイムで発信できます。
- ④クローズした情報共有の場として・・・イントラブログなど、IDとパスワードで閲覧者を規制し、社員だけが利用できるブログを構築することもできます。社内データベース、日程管理、掲示板など、情報共有の場として利用することが可能です。

## (3) 問題点

- ①炎上について・・・社会通念上好ましくない意見や行いに対して、不特定多数の読者から批判を浴びることを「炎上」と言います。対応をまちがえると、更に企業イメージを損なうこととなります。
- ②情報の漏洩・・・閲覧者を規制したブログとして構築しても、基本的にはネットを利用するため、情報漏洩の危険性がないとは言いきれません。
- ③ブログフィルター・・・検索エンジンで、ブログを除外する設定が可能になりました。ブログを無料で公開できるサービスが増え、ブログサイトが増えたことが理由です。特に、無料ブログやレンタルで公開しているブログが対象となります。
- ④更新頻度・・・せっかく立ち上げても更新頻度が少なすぎると、やはり企業イメージを損ねてしまいます。

## 結論

ビジネスでブログを利用する場合、公開したくない読者とのやり取りが筒抜けになったり、非公開の情報がネットに公開されてしまうなど、一歩間違えると不利な状況になる場合もあります。しかし、ネットも実社会の一部であるという認識を持ち、読者の意見に真摯に対応し、情報についても管理を徹底した上で、入室・入力の規制などきちんとした運用をすれば、大きな問題になることはありません。そういったブログの仕組みを理解した上で、さまざまな機能を有効に活用すれば、少なからぬメリットを享受できると思われます。あなたもブログをはじめてみませんか？

アイ・シー・キューブではブログ構築のコンサルも承ります！

## 株式会社アイ・シー・キューブ

〒310-0021 水戸市南町3-3-43

TEL 029-228-0116

FAX 029-233-0882

FAX版IC3通信を停止されたい方は、  
お手数ですがこの原稿を、

**FAX (029) 233-0882**

までFAXしてください。

( )

のFAXを停止してください。